

高崎市中心街を

秋

貫く「シンフォニ

春

ロード」に、青

山

い旗がなびいてい

る。

「第九」と白

く

染め抜かれた太

い文字。運転中も次々と目  
に飛び込んでくる▼旗は1  
カ月後のコンサートを告知  
している。高崎芸術劇場で  
群馬交響楽団がベートーベ  
ン「交響曲第9番」を奏で、  
高崎第九合唱団が歌う。年  
末の恒例行事で、今年は大  
作曲家の生誕250年に当  
たるが、演出の方法は例年  
とずいぶん変わってくるら  
しい▼新型コロナウイルス  
の影響を受けたものの一つ  
が歌うという行為だろう。  
合唱はその最たるもので、  
群響と各地の合唱団による  
第九は中止が相次ぐ。高崎  
があえて挑むのは群響を生  
んだ「音楽のある街」の誇  
りに違いない▼練習会場を  
訪ねると、歌いやすいよう  
工夫したマスクを着けた  
り、客席を舞台代わりに使  
ったり、細心の注意を払っ  
て本番に臨むことが分かる  
▼先日、市内で地元合同葬  
が行われた中曾根康弘元首  
相は、旧制高校の寮でクラ  
シック音楽に親しんだ。ベ  
ートーベンをよく聴き、第  
九の「歓喜の歌」をドイツ  
語で歌うことができると晩  
年のインタビューで語って  
いる▼冒頭に紹介した旗の  
色はコロナ対応で献身的に  
尽くした医療従事者への感  
謝を示しているという。価  
値観や生活スタイルが一変  
した今年。歓喜の歌が人々  
の背中を押すように、コン  
サートの成功を祈りたい。